

東洋史特殊講義4B- II

科目ナンバリング HAA-208
選択必修 2単位

澁谷 由里

1. 授業の概要(ねらい)

「中国共産党の百年」

昨年(2021年)、中国共産党は創立百年を迎えました。「党が国を指導する」という、中華人民共和国の現体制をつくったこの政党は、どのようにして現在のすがたになっていったのでしょうか。政党の歴史(党史)とともに、その背景にある中華民国(1912-1949年)の歴史や、中国国民党との関係、ソ連を中心とする国際関係などを考えていきましょう。

2. 授業の到達目標

- 1,中国共産党および中華人民共和国の歴史や現状に対して、基礎的な理解と客観的な視点を持てるようになる。
- 2,同時代史や前史、ほかの組織や国との関係などを総合的に理解し、世界情勢に対して広い視野を持てるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・LMSに出題する、全5回(各回は20点満点)の配信課題への解答(100%)
- ・3回以上提出を忘れると、合格点(60点)には届かない。また2回の提出忘れであっても、残る3回が全て満点でなければ合格点には届かない(ただし履修修正により、第4回から履修者名簿に加わった学生については、全4回<各回を25点満点に換算>の課題解答で評価する)。なお「提出期限」とは、送信完了までの時間を指すので、解答が終了していても、送信が遅れた答案は減点する。

4. 教科書・参考文献

教科書

石川禎浩 『中国共産党、その百年』 筑摩書房

5. 準備学習の内容

中国近現代史については、東洋史概説で学んだ基礎知識はあるものとして授業を進めます。この科目を履修していない学生は、シラバスをみて、該当する時代について手持ちの高校世界史教科書や、各種参考書などを予習し、授業にも持参してかまいません。なお概説を履修済でも自信のない学生も、同様にしてください。

6. その他履修上の注意事項

配信課題解答の提出・送信忘れに注意。特に送信ファイル名の字数が多すぎる(おおむね21字以上)と送信できないので、気を付けてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 後期新規履修者向けガイダンス、および前期最終回の内容復習(対面授業)
- 【第2回】 西安事件(1936年)と第二次国共合作(1937-1949年)―張学良はなぜ蔣介石を急襲したのか?(対面授業)
- 【第3回】 日中戦争(1937-45年)中の中国共産党―毛沢東の主導権はどう確立されたのか? ※授業終了後、第1~3回についての課題をLMSから出します。
- 【第4回】 日中戦争勝利とその後の国共関係(対面授業)
- 【第5回】 国内内戦(1946-49年)と中華人民共和国の成立(対面授業)
- 【第6回】 朝鮮戦争(1950-53年)への参戦―北朝鮮とのきずなはどう形成されたのか? ※授業終了後、第4~6回についての課題をLMSから出します。
- 【第7回】 「百花斉放(ひやっかせいほう)、百家争鳴(ひやっかそうめい)」政策(1965年)と反右派闘争(1957年)(対面授業)
- 【第8回】 大躍進運動(1958年)とその失敗(対面授業)
- 【第9回】 プロレタリア文化大革命(1966-76年)への道―共産主義の理想と現実(対面授業) ※授業終了後、第7~9回についての課題をLMSから出します。
- 【第10回】 プロレタリア文化大革命(1966-1976年)(1)―林彪(りんびょう)の死(1971年)まで(対面授業)
- 【第11回】 プロレタリア文化大革命(1966-1976年)(2)―毛沢東の死と「四人組」の逮捕(1976年)まで(対面授業)
- 【第12回】 鄧小平時代と改革開放路線(1978-89年)(対面授業)
※授業終了後、第10~12回についての課題をLMSから出します。
- 【第13回】 天安門事件(1989年)とは何だったのか?(対面授業)
- 【第14回】 中国共産党と中国はどこへ向かうのか?(2023年1月7日、LMS配信)
- 【第15回】 世界史、および世界情勢の中での中国共産党と中国―1年間のまとめと展望(対面授業) ※授業終了後、第13~15回についての課題をLMSから出します。